

授業科目	臨床栄養管理演習				実務家教員担当科目	○					
単位	1.	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期				
担当教員	渡邊 和美										
授業概要	<p>実務家教員として、長年病院に勤務した管理栄養士として臨床経験を活かし、授業を行う。</p> <p>日本の人口の年齢別比率が劇的に変化して迎える「超高齢化社会」は、社会構造や体制が大きな分岐点を迎え、医療、福祉、介護など、さまざまな分野に影響を与えることが予想される。この2025年問題、2040年問題を視野に入れると、社会保障費の増大、不足が予想されるほか、医療、介護分野の整備や少子化対策が急務となっている。そのため、医療分野では、「医師・医療従事者の働き方改革」として、タスク・シェアリング/タスク・シフティングのためのチーム医療等の推進が求められており、健康寿命の延伸のためにも、管理栄養士に課された役割は大きいと考えられる。そこで、医療・介護の分野で、個々人の栄養ケアプロセスをどのように学び、身につけていくのかは、臨床栄養管理の一つの重要な課題である。チーム医療の一員として、栄養診断を的確に行うためにはどうすればよいのか、栄養診断で明らかになった問題を解決するためには、何を計画すべきかの手順について、アクティブ・ラーニングを実施する。</p> <p>本科目では、臨床（医療・福祉施設）においてチーム医療を推進するための管理栄養士の役割と専門性を再確認する。また、医療従事者として、加齢に伴う身体の変化、身体障がい（視覚・聴覚含む）の食生活・食行動の理解を進め、臨床栄養管理における留意点をまとめる。</p>										
授業形態	講義、演習	授業方法	アクティブラーニング(PBL、グループワーク、反転授業)								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床（医療・介護）における管理栄養士の役割と専門性を理解できる。（DP-1）</li> <li>2. チーム医療の一員として自立して栄養管理業務をプランできる。（DP-2, DP-3）</li> <li>3. 栄養管理計画書の作成がスムーズにできる。（DP-4, DP-5）</li> </ol>										
理想的レベル	標準的レベル1～3の全てを達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。また、修得した知識および技術を応用して、本演習のテーマ以外の傷病者への栄養管理方法を提示できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験											
小テスト											
レポート	50%				症例研究（糖尿病、腎臓病、心不全他）						
発表（口頭、プレゼンテーション）	50%				疾病ごとの栄養診断及び栄養管理計画書の作成						
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT32601J

学習課題（予習・復習）		1回の学習目安 （時間）
予習：課題の研究、スライド作成 復習：課題の把握、レポート作成		1
授業計画		
第1回	テーマ：オリエンテーション 授業の概要について説明し、その履修方法や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。	
第2回	テーマ：症例から考える個々人の栄養管理 傷病者個々人の栄養ケアプラン作成の考え方を理解する。 参照ページ：p. 1-10	
第3回	テーマ：症例研究、アクティブ・ラーニング説明 グループ別に症例の選択を行い、栄養管理計画書を作成する。その後プレゼンテーションを行い理解を深める。	
第4回	テーマ：症例研究、アクティブ・ラーニング準備1 グループ別に症例の選択を行い、栄養管理計画書を作成する。その後プレゼンテーションを行い理解を深める。	
第5回	テーマ：症例研究、アクティブ・ラーニング準備2 グループ別に症例の選択を行い、栄養管理計画書を作成する。その後プレゼンテーションを行い理解を深める。	
第6回	テーマ：症例研究、アクティブラーニング準備3 グループ別に症例の選択を行い、栄養管理計画書を作成する。その後プレゼンテーションを行い理解を深める。	
第7回	テーマ：症例研究、アクティブラーニング準備4 グループ別に症例の選択を行い、栄養管理計画書を作成する。その後プレゼンテーションを行い理解を深める。	
第8回	テーマ：症例研究、アクティブラーニング準備5 グループ別に症例の選択を行い、栄養管理計画書を作成する。その後プレゼンテーションを行い理解を深める。	
第9回	テーマ：症例研究、アクティブラーニング準備6 グループ別に症例の選択を行い、栄養管理計画書を作成する。その後プレゼンテーションを行い理解を深める。	
第10回	テーマ：症例研究、グループディスカッション1 症例から考える個々人を対象とした栄養管理の手法	
第11回	テーマ：症例研究、グループディスカッション2 症例から考える個々人を対象とした栄養管理の手法	
第12回	テーマ：症例研究、グループディスカッション3 症例から考える個々人を対象とした栄養管理の手法	
第13回	テーマ：症例研究、グループディスカッション4	

	症例から考える個々人を対象とした栄養管理の手法
第 14 回	テーマ：症例研究、グループディスカッション 5 症例から考える個々人を対象とした栄養管理の手法
第 15 回	テーマ：症例研究、グループディスカッション 6、総括 症例から考える個々人を対象とした栄養管理の手法
テキスト	必要な資料は、適宜配布する。
参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴木純子編：栄養ケアプロセス演習～傷病者個々人の栄養ケアプラン作成の考え方～（同文書院） ISBN：978-4-8103-1508-0</li> <li>・塚原丘美編：臨床栄養学 Nutrition Care Process に沿った傷病者の栄養管理（医歯薬出版） ISBN:978-4-263-72034-9</li> <li>・本田佳子編：栄養食事療法の実習～トレーニーガイド栄養ケアマネジメント～（医歯薬出版株式会社） ISBN:978-4-263-70824-8</li> </ul>
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	レポート提出の詳細については授業内で別途説明する。レポートは評価後に返却する。パワーポイントによる説明やグループワークでは授業中に評価コメントする。
学生への メッセー ジ・コメ ント	<p>これまで3年間学んできた基礎分野や専門分野の科目、全てを総合的に活用する科目です。すべての科目に関する知識と理解が求められます。</p> <p>この科目では、臨床の現場で必要とされる傷病者の栄養問題を解決するための思考力が養えます。どのようにしたら合理的かつ包括的な栄養管理計画を立案できるか、課題解決のためのスキルを修得していきましょう。また特に病院や福祉で働く管理栄養士は、各症例ごとの栄養管理計画書を作成するだけでなく、チーム医療の多職種メンバーにも栄養管理の手法についての説明が求められます。この講義・演習を通じて代表的な疾患の概要・栄養評価・栄養治療・モニタリングについて理解するだけでなく、分り易く他者へ栄養管理について説明できるように学んでいきましょう。</p>